

平成27年度 東葉高等学校自己評価表（平成28年3月）

| 学校目標 | 建学精神（人間尊重・個性尊重・第三教育）に則り、自他ともにかけがえのない存在であることを自覚し、自身の持ち味、可能性を信じて生涯を通して自分で自分を教育する人間づくりを目指す。 | | | 達成度 | A ほぼ達成（8割以上） |
|-------|---|--|--|-----|--|
| 本年度目標 | ① すべての生徒が安心して通える学校づくり（＝すべての保護者が子どもを安心して預けられる学校づくり） ② すべての生徒の学力アップと卒業時の進路決定100%を保障する。 ③ 創立90周年記念事業の実施。 | | | | B 概ね達成（6割以上） |
| | 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価 | 次年度の主な課題 |
| 1 | 教 務 | ① 学力の向上（すべての生徒の学力アップ） ② 授業改善および家庭学習の習慣化 ③ 教科会の充実 ④ 授業実践記録「鈴懸」の発行 | ・生徒にとって分かりやすく、興味や関心を促す授業づくり ・ICT機器を活用した授業づくり ・家庭学習用の教材プリントや通信DVDの活用を図る。 ・自学自習の場として図書室利用の促進を図る。 ・教科会を伝達の間から討議と研修の場にする。 | B | ・地道な教材研究と準備に基づく授業。 ・ICTやアクティブラーニングを導入した授業。 ・家庭学習の習慣化。 ・図書館の利用者増加。 ・教科内研修の場としての授業公開の促進。 |
| 2 | 生活指導 | ① 安心・安全な学校生活 ② 規範意識の育成 ③ 予防指導の取り組み ④ 自主的活動の支援 | ・多様化する生徒の実態に合わせた指導の実施。 ・保護者へのきめ細かな報告と協力体制づくり。 ・事件、事故や違反を未然に防ぐための指導を重視する。 ・挨拶運動、登下校指導、交通安全指導などに取り組む。 ・行事や部活動、生徒会活動などの活性化。 | B | ・ネット利用による被害と加害の教育指導。 ・自転車通学者の事故を未然に防ぐ指導。 ・高校生らしい身だしなみを整える。 ・学校生活実態調査(アンケート)の実施。 ・災害発生時の対応について。 |
| 3 | 進路指導 | ① 生徒一人ひとりに適したキャリア形成 ② 卒業時に100%適切な進路の実現 ③ 三年間を通じた進路指導 ④ 進学希望を叶える指導 | ・生徒の能力と適性、価値観、やる気を大切にする。 ・三年間を通じた特別進学講座『東葉塾』の充実。 ・模試結果を教科にフィードバックして活用する。 ・センター受験者を増やす。(選抜クラスは全員受験) ・ハローワークの就職支援等を活用した指導。 | B | ・進路実現100%（本年度達成率93%）。 ・より進学希望を叶える指導の充実。 ・自分の実力より一つ上を目指す精神づくり。 ・授業内容の改善と東葉塾の充実。 |
| 4 | 入試広報 | ① 受験者数1,000名以上を確保 ② 広報活動の取り組み強化 ③ 校内イベントの充実 ④ ネット出願について調査・検討 | ・中学校や塾との連携を強化し、受験者数を増やす。 ・入学後の様子を出身中学校と塾にフィードバックする。 ・オープンスクールや学校説明会を充実させる。 ・塾対象説明会の内容を充実させる。 ・学校案内パンフレットの内容を改善する。 | B | ・全日制の受験者数を増やす(本年度953名)。 ・広報活動をより一層強化する。 ・通信制の広報に注力する。 ・ネット出願についての検討と準備 |
| 5 | 環境整備 (防災設備) | ① 校舎内外の点検・整備と修理・営繕 ② 学習・生活環境の整備 ③ 美化委員会活動の充実 ④ 清掃用具の充実 ⑤ 防災に備えた施設・設備 | ・生徒一人ひとりが責任を持って清掃に取り組む指導。 ・清掃場所の点検カードの利用で、担任と監督者の連携。 ・定期的に全校一斉美化活動を行う。 ・美化委員会による校内美化整備活動を行う。 ・防災に関して行政や地域との協議を深め、連携を図る。 | B | ・校舎内外の美化（通学路を含む）。 ・点検、修理申請、修繕の迅速化。 ・自主的な美化委員会活動の促進。 ・万一を想定した避難所運営の模擬訓練。 |